

逃げる男レポート。

僕は1歩踏み出して、  
プロから恋愛を学んで、  
変わることができました。

僕はたまに思うことがあります。

もし僕が逃げて、  
何も行動せず、  
知識を学ぶことがなかったら？

今から話すのはそんな物語です

僕が童貞だったのは、  
大学生のころ、  
当時19歳。一人暮らし。  
美人大好き。  
無駄に高いプライドと、  
どうでもいい自分なりのこだわりを持つ。

そんな僕が逃げ続けていたらどうなっていたの  
か。

という話ですね。

途中までは僕の実体験。

後半の方では、予想も交えて、  
かなりリアルな話をしてるので、  
もしかしたら途中で閉じたくなるかもしれませ  
ん。

グサグサくるでしょう。

僕も含め、誰しも逃げたことってあると思うか  
ら、  
ギクツとする部分もあるはず。

でも、そこで踏ん張って、  
最後まで読める人は、  
尊敬します。

現実に向き合える人はかっこいい。

こういう人はセンスあります。  
学べば飛び抜けるんじゃないかな。

そんな人に向けて、  
書きました。

そうじゃない人は、  
今の時点で閉じることを勧めます。

ではストーリーです。

—————

え。てかめっちゃかわいくね？  
あの子。

僕はかわいい子を見つけるスピードが鬼のように  
早い。

かわいい子が正義。

絶対付き合うなら、  
かわいい子だ。

童貞のくせに、そんなどうでもいいこだわりがあ  
った。

美人をみつけた僕は、  
すぐさま隣を見た。

イケメン風の男を発見。

あー、

やっぱ男いんのかよー。  
まあそうか。  
あれだけ女の子可愛かったらな。

てか、超イケメンじゃん。

まーたイケメンかよ。  
はい。はい。はい。

どうせ世の中、  
イケメンが得するんだろ。

そう思って、  
何も行動に移すことはなく  
僕は眠りについた。

次の日もまたかわいい子を見つけた。

そしてすぐさま隣をチェック。

今日はあれ？

イケメンじゃないぞ。

むしろブサイクというか、  
あんまりかっこよくはない。

なんかちょっと太ってるし。

あ、あれか。

金持ちパターンね。

わかったぞ。

それかパパ活とか同伴とか、  
そんなところだろ。

そーいうやつはいいよなー。

美人と付き合えてさ。

長い回想が始まる。

それに比べて俺は。。。

あーもう無理だ。

おれってダメなんだ。

あーあ。

はいー。

どうせ俺なんてね。

もういいよ。

別に恋愛なんてしなくていいし。

ゲーム楽しいもん。

男と喋ってるほうが面白いもん。

映画、漫画まじ最高。

てか恋愛とかしてるやつなんなん？

女に媚びてるじゃん。

女々しくね？

チャラチャラしてるやつとかは、

もううううう論外。

話にもならん。

楽しく話してるやつ、  
何考えてるん？

男だったら、  
話しかけるとかしないで、  
どっしり構えてろよ。

その方がかっこいいだろ。

おれは硬派をつらぬくからな。

てかどうせなら、  
おれはクールを目指す。

そうすれば、  
勝手に向こうから話かけてくるだろ。

そう思って、  
僕は自分なりにクールぶって、  
生活してみた。

当然のごとく、全く反応なし。  
女子が話しかけてくることは0だった。

そしてまた回想が始まる。

はあ？  
見る目ないのか？

おれはこんな良いやつなのに。  
マジメなのに。  
おれをちゃんと見ろよ。

女も女で何考えてるん？

あんなチャラ男とか、  
ダメ男について行ってさ。

それで泣いたりしてるじゃん。  
おかしくね？

チャラ男とか、

ロクなやついないだろ。

声だけデカくて、  
何も考えてないだろ。どうせ。

ああいうやつは、  
だいたい女遊びしてるし、  
女を幸せにできるわけないんだよ。

気づけよおおお。

おれがいるだろ。  
おれが。

ほら。  
話しかけてくれよ。

なんでだよ。。。  
おかしいだろ。

こんな世の中おかしいわ。

中身みろよ。  
中身を。

はあ。  
もうダメだ。

話にならん。

あーいらいらするなあ。

ゲームするか。

僕はストレス解消のために、  
ゲームをするのが日課だった。

対して楽しくもないけど、  
そこに夢中になっている間は、  
現実を見なくてすむから。

楽しいんだ。  
と自分に言い聞かせていた。

もっと楽しいことがあるのを薄々気づきながら、  
目を背けていた。

ただの現実逃避である。

僕はいつものようにゲームを始めた。

あー楽しいーーーーー。

やっぱこれだよなあ。

腹減ってきたし、  
唐揚げ弁当とコーラも買って、  
ぱーっとやっちゃうか。

コンビニいくか。

コンビニに入店。

あ、肉まんうまそうだな。  
買っちゃおう。

あ、ポテチもいいな。

帰宅。

バリバリ、ボリボリ。

むしゃむしゃ。

かーっ。

うめえ。

そろそろ寝るか。

僕は寝る前にエロ動画をあさるのが日課だ。

よし。お決まりのやつやろっと。

さーて、

今日は何の動画にしようかなー。

おー今日はこんな動画があるな。

最高じゃん。

超かわいいわー。

この子さいこーう。

たまらんわあ。

ふう。

あー終わったぜ。

え、てかさ、動画はやくとまれよ。  
早く閉じろ。閉じろ。  
主張してくんなよ。

あー。

今日もやっちゃったなー。

え、てかもう深夜3時？

は、まじで？

うわ。えー、まじ？

時計ずれてないよね。

まじやん。

もう2時間たったのかよ。

萎えるわー。

またやっちゃたわ。これ。  
あーあ。

明日は7時に起きなきゃだろ。  
最悪すぎる。

就寝。

ジリジリジリジリ。

うるせーな。  
さっさと止まれ。ポチ。

僕は眠たい目をこすりながら、  
起き上がった。

今日もまた憂鬱な1日が始まる。

そして今日も1日が終わった。

次の日も同じ。

またその次の日も同じ。

同じことを考えて、  
同じような行動をして、  
同じような毎日を過ごす。

気づいたら、  
10年たっていた。

僕は30歳。

いまだに童貞。

彼女もいない。  
当然妻子もいない。

毎日楽しいこともない。  
毎日が憂鬱。

そして同じ日々を過ごし続け、  
気づいたら20年たった。

40歳。

時は流れ続け、  
50、60、70、80歳。

変わらない日常をすごしてきた。

今じゃないんだ。  
あとでなんとかなるだろう。  
いつかなんとかなるだろう。

別におれは大丈夫だ。  
なんとかなるだろう。  
と思い続けてきた。

おれは何も悪くない。  
悪いのはおれじゃない。  
そう思っていただけ。

ただそれだけ。  
安定を求めていただけ。

だけど、  
結果はどうか。

望む未来は手に入ったのか。

人生楽しくすごせてきたのか。

自信をもって日々を過ごせてきたのか。

満足する人生を送ることができたのか。

本当にそれで良かったのか。

僕は今日も眠りにつく。

今動かなくてもいいんだ。

いつかなんとかなるんだ。

と思いながら。

—————

どうでしたか？

もし僕がいろんなことから逃げ続けていたら、  
本当にこうなってたと思います。冗談抜きで。

まずそもそも昔の僕は、  
恋愛自体に目を背けていました。

本当は女の子と、  
いろいろしたかったのに。

付き合ってるのとか、  
超羨ましかったのに。

でも俺はどーでもいい。  
とか言っちゃう。

こんな風に自分に嘘をついてるとマジで悲惨で  
す。

うん。こわいね。  
こうなったら取り返しつかない。  
どこかで動けば別だけど。

そして動くタイミングは若ければ若いほど良いで

す。

僕は本当にラッキーでした。

ある程度若いときに、  
ちゃんと実力者から学ぶことができたので。

じゃあいつからが若いのか、  
って議論はどうでもよくて、

要はみんな誰しも今が一番若いわけです。

超当たり前なんだけど、  
僕だって明日の僕より今の僕の方が若いです。

それを僕は常に感じていて、  
だからこそ僕自身も日々進化できるように、  
勉強してるし、  
新しい体験をするようにしています。

新しい経験をするとか、  
新しいことを学ぶのって、  
めっちゃこわいですけどね。

でもやるしかない。  
そうしないと進化できない。って、  
僕は心に刻み込んでます。

逃げないぞ。って。

で、この考え方は、  
僕が童貞を卒業してやると決意したときからずっ  
とやってきました。

はじめにナンパ師の勉強会に参加したときなんか  
は典型です。

うわーナンパ師ってなんだよ。  
変なチャラついたやつにバカにされないか  
な。。。

でもこの人知識ハンパなさそうだしな。  
めっちゃ勉強になりそうだしな。  
おれ変われるかもしれないしな。

こえーよ。。。  
でもやるしかねえ。  
今動かなかかったら絶対後悔する。

それは嫌だ。  
一生童貞も嫌だ。  
いけええええええ。

って感じでした。

こんな風に、  
変われるかどうかって、  
実年齢が若いとかは関係なくて、  
全ては心の問題です。

心が若ければ、  
もう遅い。なんてことはない。

いつだって変わろうと決意すれば変われます。

よく聞くのが、  
「いつまで童貞だとやばいですか？」  
という質問。

これに答えるとするなら、  
今。ですね。

今までずっと童貞だったことはやばいし、

今この瞬間童貞であることもやばいです。

そこは危機感を持った方がいい。

でもだからといって、  
悲観する必要もなく、  
今変わればいいだけの話です。

変わろうと決意して、  
適切な知識を勉強して、  
努力すれば誰でも変われます。

具体的には、  
コミュニケーションを学ぶ。

そしたら意外とあっけなく、  
童貞なんて卒業してます。

そんなもんです。

もっと言うと、  
何が何でも変わってやる。  
そのためにはなら金だって使うし、  
時間だって使ってやる。

という人はめちゃくちゃ結果です。

これは僕の今までの経験上、  
間違いない。

僕も例外なくこのパターンで、  
童貞を卒業できたし、  
彼女もできて、  
ここまで来れました。

とはいえ、  
僕にも色んな葛藤がありました。

さらっとやってるように見えるかもしれないけど、  
悩みまくり、迷いまくりでしたよ笑

ここら辺は話すとキリがないので、  
詳しくはこの記事読んでください。

「童貞逆転ストーリー。師匠のSさんから学んで彼女ができた話」

<http://renaikyun.com/archives/78>

この記事で出てくる「葛藤」にフォーカスして読んでみると、  
自分でもいけそうな気がしてくると思いますよ。

1回読んだことある人も、  
今日話したことを踏まえて読むと、  
全然印象違うはず。

あとそもそも、  
人は忘れるんでね。

同じ内容を何回も読んで、  
インプットする。

徹底的に学ぶために、  
これも僕はやってみました。

はい。おわり。